

入間市環境基本計画 施策・指標に対するご意見・ご提案の概要 ※各方針・施策の名称は前回環境審議会時点でのもの

基本方針	基本施策	具体的施策	ご意見・ご提案
基本方針1 地球温暖化対策の推進	気候変動の緩和	省エネルギーの推進	炭素を出さないような行動に切り替える、市民の行動変容が読めるような言葉づかいへの変更。
			EVシェアリングの利用率などを指標として追加。
	気候変動への適応	気候変動への適応	具体的施策を「適応策の社会実装」等に変更。
			指標に「クーリングシェルター」の箇所数を追加。 熱中症搬送者数を指標として追加。
基本方針2 循環型社会の推進	循環経済（サーキュラーエコノミー）、3Rの推進	ごみの減量の推進（リデュース、リユース）	3Rはまとめて一つの施策としてもよい。
			2R（リデュース、リユース）とリサイクルで分けたままでよい。
			「3 R+Renewable」への変更。
			リデュース、リユースとリサイクルとで内容的に重なりがあるので修正が必要。
			「家庭ごみ排出量」及び「事業ごみ排出量」の目標値設定については、排出量の減少要因を詳しく分析する必要がある。
			一般廃棄物処理の取組については、事業者の排出内訳を把握し、ターゲットを絞る必要がある。
			家庭での取組などについては、サンプル数値などを用いて1件あたりの効果を示し、個別でどのような効果が出ているのかを測定した方が良い。
			地域の中での循環率を指標として追加。
			家庭からでるごみを減らす取り組みの推進。 生ごみの自家処理の推進、共同コンポストの設置
			飲食店で容器を返却する取組等、リユース容器を使った取組の追加。
			県のサーキュラーエコノミーの補助金を活用している会社や、市のSDGsパートナー企業などで、代替素材の活用事業を行うところを増やす取組の追加。
			リサイクルプラザを活用し、着物などを市民が持ち帰った量を増やす取組の追加。
			リサイクルプラザに市民からリユース品として持ち込みができるようにする取組の追加。
		リサイクルの推進	回収拠点を増やす取組の追加。
			「可燃ごみ→燃やさなければならないごみ」と表現を変える取組の追加。
		-	リニューアブルの取組として、「代替素材の推奨」、バイオプラや間伐材を使った製品を作っている会社等を取り込むといった取組の追加。
基本方針3 豊かな自然環境と生物多様性の保全	生物多様性の保全と回復	野生生物の保護と外来種対策	「生物多様性の保全」という文言を、ネイチャーポジティブの視点を踏まえ「保全と復興（または回復）」へ変更。
			具体的施策「野生生物の保護と外来種対策」を「野生生物の保護と管理」「生息環境の維持回復」「外来種対策」に分割。
			生物多様性保全に関する指標が無い。自然共生サイト（OECM）の箇所数、アンケート調査などを行えるのであれば、「生物多様性」の認知度など。
	丘陵地の保全・活用	里山の保全と活用拠点の整備	基本方針に「里地・里山」を追加。
			指標「加治丘陵の公有地化の推進」について、30 by 30の実現に必要な面積を満たすために〇〇haの公有地化を推進、という目標設定に変更。
	水環境の保全	健全な水環境の維持	基本方針5の「きれいな水質の保全」と統合。
	畑の保全・活用	農業基盤の強化推進と農業生産の振興	「畑の保全活用」を自然環境の方針に位置づけることは妥当か。
		-	「畑の保全活用」に関する指標が無い。

入間市環境基本計画 施策・指標に対するご意見・ご提案の概要 ※各方針・施策の名称は前回環境審議会時点でのもの

基本方針	基本施策	具体的施策	ご意見・ご提案
基本方針4 住みやすさが実感できる都市環境の構築	交通環境の整備	公共交通の利便性の向上	環境基本計画の中に「交通環境整備」を盛り込むのはやや対象が広くなりすぎている。
基本方針5 安心して健康に暮らせる生活環境の保全	きれいな空気 きれいな水	きれいな水質の保全	指標として、合併処理浄化槽の普及率や、浄化槽の検査率の向上を設定することが多い。
	-	-	エネルギーレジリエンスや災害廃棄物への対応、グリーンインフラの視点など、災害や気候変動への対応といった視点の追加。
基本方針6 環境教育の推進と環境活動の実践	活動の場の充実	環境活動の実践	エシカル消費やESG投資の推進などの追加。